

重 要

更新研修を実施する際の留意点

JSPO の公認スポーツ指導者育成事業は、スポーツ医・科学に基づいた適切な指導を行うことを目的にそのあゆみをはじめ、現在も更新研修では、公認スポーツ指導者に「スポーツに関する最新情報等を学んでもらう」等を目的としております。

このことを踏まえ、更新研修の実施に際しては、令和 6(2024)年度から更新研修承認基準の一部を変更しております。

改めて、同基準の変更点をご案内するとともに、この変更点を含め、これまでに寄せられた申請で基準を満たさなかった内容などを下記に例示いたします。研修内容をご検討いただく際には、承認基準を満たすようご注意ください。

なお、基準が満たされない場合には承認できませんので、ご不明な点等ある場合には、事前にご相談くださるようお願いいたします。

参考：令和6(2024)年度からの変更点

「更新研修承認基準」の「2. 承認基準 6)講師」において、次の内容を追加

※ メディカル・コンディショニングの 4 資格(スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士)に関わる内容の講師は、原則として当該資格を保有する者とする(学会・学術集会は除く)。

更新研修として認められない例など

1. 上記「メディカル・コンディショニングの 4 資格に関わる内容」の研修にもかかわらず、講師が同承認基準を満たす資格を保有していない

→ 「メディカル・コンディショニングの4資格に関わる内容」とは、[各資格のカリキュラム](#)(左記青文字のリンクから当協会 HP に遷移します)で学修する項目の領域が該当します。

【NF 等の協同認定団体及び都道府県スポーツ協会限定】

例えば、下記のような研修内容に関する当該分野の専門家や一定の研究・教育実績などを有する方を講師として招聘されたい場合には、事前に当協会までご相談願います。内容に鑑み承認することがあります。

(※ただし、次項2以降の内容等の他の基準を満たしていることが必須です。)

- 顕著な実績を有する大学研究者など、当該分野のスペシャリスト
- ドーピングの内容に関して「スポーツファーマシスト」の資格を有する方や、メディカルの内容に関して、国際スポーツ大会の日本代表選手団帯同ドクターの方など、当該分野で一定の実績を有する方

2. 医・科学的根拠が十分に確立されていない内容・分野である

- 医・科学的根拠が十分に確立されていないとは、医・科学的な検証などによるエビデンスが明確になっておらず、個人や組織の考え・主張や経験に依拠しているなどの内容を指します。この目安として、当該分野の学術論文が、日本学術会議協力学術研究団体の学会に、査読を経て複数掲載されているか、あるいは掲載されていても、それらのエビデンスの質・量、再現性、縦断的・横断的な研究による統計的な信頼性が十分に確保されているかなどを参考に確認します。また、その判断が難しい場合には、専門家に助言を求めて検討する場合があります。

3. 研修の時間数が不足している

- 事務連絡や冒頭のあいさつなどは研修の対象時間に含みません。講師による講習、研修、討議、グループワークなどのみを対象として研修時間(3時間以上)を算出します。なお、3時間以上であれば、何時間であっても構いません。

4. 事前の申請を行わず、終了後に報告(申請)する

- 更新研修の承認手続きは、事前に申請を行い、その内容を確認した後に承認しております。承認手続きを経ずに開催した研修会は、公認スポーツ指導者の更新研修とは認められません。必ず事前に申請してください。

5. オンライン形態(ライブ形式)などで参加者の受講状況を確認していない

- ミーティング形式で参加者のカメラがオフでも受講可としていたり、ウェビナー形式にも関わらず、研修中や事後の小テストやレポート課題の提出を義務づけていないなど、本人確認及び参加確認をしていない場合、更新研修とは認められません。本人確認や受講状況の確認は必ず行ってください。

6. 承認前に募集を開始している

- 前述 4.のとおり、更新研修は当協会で内容を確認した後、承認となります。承認前に募集等で公開し、その後、承認手続きの過程で内容に変更が生じたり、更新研修と認められなかった場合には、参加者への混乱が生じます。公開は、承認後に行ってください。

なお、内容の確認には5営業日(繁忙期は2週間)程度の時間を要しますので予めご了承のうえ、余裕を持って申請準備を行ってください。